

30. 峰地区

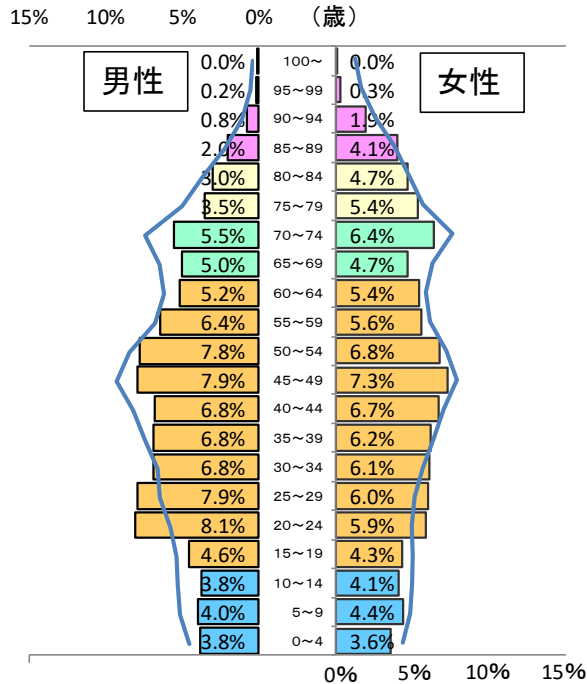
(1) 地域資源・生活環境の状況

ア 地域資源・生活環境の状況

- ・ 総人口：11,061 人（男性 5,741 人，女性 5,320 人）
- ・ 世帯数：5,117 世帯（1 世帯あたり 2.16 人）
- ・ 国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者数：4,539 人
- ・ 高齢化率：23.7%（市全体 25.7%）
- ・ 後期高齢者比率：12.9%（市全体 12.5%）
- ・ 要介護認定率：18.9%（市全体 18.0%）

資料：住民基本台帳人口（R3.9.30）等

図Ⅱ-Ⅱ-1 性別・5歳階級別人口



資料：住民基本台帳

図Ⅱ-Ⅱ-2 年齢3階級別構成比（R3.9.30）

	地区	市全体
15歳未満	11.8%	12.9%
15~64歳	64.5%	61.4%
65~74歳	10.8%	13.2%
75~84歳	8.2%	8.6%
85歳以上	4.6%	3.9%

資料：住民基本台帳

図Ⅱ-Ⅱ-3 人口指数（R3.9.30）

	地区	市全体
従属人口指数	55.1	62.9
老年人口指数	36.7	41.8
年少人口指数	18.3	21.0
老年化指数	200.3	198.8

資料：住民基本台帳

図Ⅱ-Ⅱ-4 産業別就業人口構成比（R2）

	地区	市全体
第1次産業	0.5%	2.3%
第2次産業	23.4%	25.4%
第3次産業	72.5%	68.6%

資料：令和2年国勢調査

イ 地域組織・活動の状況

自治会	自治会数	10 自治会
	加入世帯数	2,503 世帯
安全・安心にかかる取組	・ 環境点検活動 ・ 交通安全運動 ・ 防犯パトロール活動 ・ ふれあい安全まつりの開催 ・ 地区自主防災会等を中心とした防災訓練の実施	
スポーツ行事	10 月：体育祭（中止）	
地区イベント	9 月：みねの秋祭り 1900 名参加 11 月：文化祭（中止） 12 月：防災訓練 200 名参加 2 月：まちづくり懇談会	

資料：令和4年度宇都宮市みんなでまちづくり課地域支援データ

ウ 地域資源マップ



バス路線	小・中・高校	地域包括支援センター	運動施設	地域集会所
バス停	地域行政機関	子育てサロン	健康遊具公園	ふれあい いきいき サロン

地域資源

バス路線（本数）	365 本(平日)	運動施設等	0 施設
バス停	10 停留所	健康遊具公園	0 か所
駅	0 駅	地域集会所	5 か所
学校（小中高）	1 校	ふれあい・いきいきサロン	11 か所
地域行政機関	1 施設	スーパー・ドラッグストア	3 店舗
地域包括支援センター	1 施設	病院・診療所	5 施設
子育てサロン	0 施設	歯科診療所	5 施設

【地域の質的状況】

- ・ 峰地区は、市街化区域であり、住宅地が広がっている。石井街道、柳田街道が東西に走り、朝夕の通勤時間帯の交通量が特に多く、交通の利便性を高めるため、関東バス、JR バス路線のほか LRT の路線がある。
- ・ 地域内にはスーパーや病院等もあるほか、隣接する地域に大型ショッピングモールがあり、利便性は高い地域である。
- ・ 地域内には、宇都宮大学があり、施設を地域に開放し、文化活動や健康づくりのために有効に活用されている。まちづくり推進協議会においても、「福祉部会」「育成部会」「安全部会」等、7つの下部組織が組織化され、活発に活動している。

資料：宇都宮市都市計画課・公園管理課・交通政策課統計データ(令和3年度)

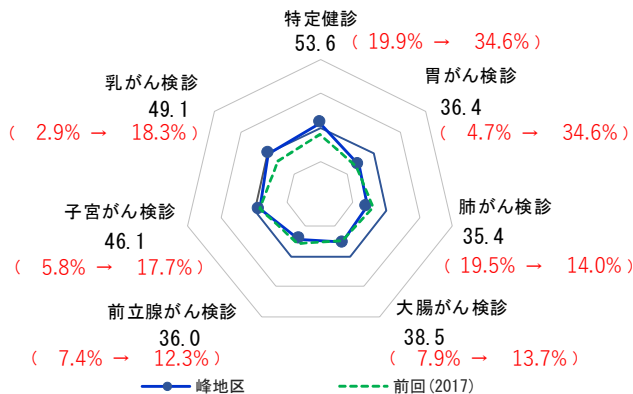
(2) 健診・医療・介護 (KDB 等)

ア 健診の状況

(※市全体の割合を 50 とし、上限を 90, 下限を 10 とした場合の値, *90, *10 は上限・下限を超える値)

① 特定健診等受診率 (大きいほど良い)

(対象) 特定健診: 国民健康保険被保険者
胃・肺・大腸がん: 40歳以上
前立腺がん: 50歳以上 (男性のみ)
子宮がん: 20歳以上 (女性のみ)
乳がん: 30歳以上 (女性のみ)
(40歳以上は2年に1回)

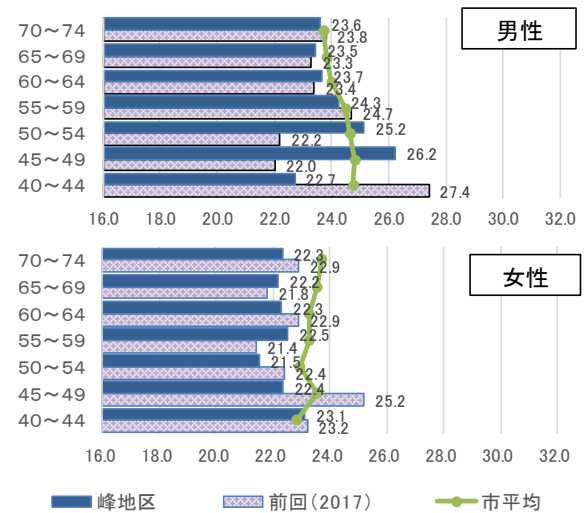


* () 内は実際の受診率の経年変化を指す

資料: 令和3年度 KDB 等データ

② BMI (年齢別平均値)

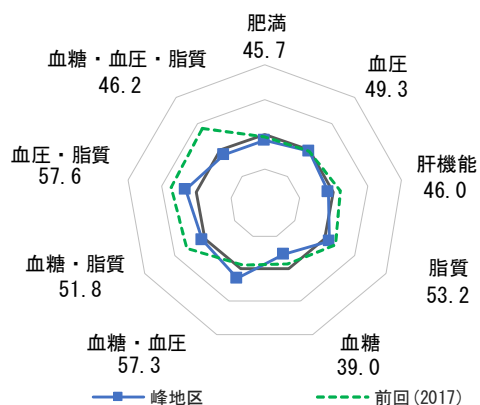
(対象) 国民健康保険被保険者



資料: 令和3年度 KDB データ

③ 生活習慣病リスク保有率 (小さいほど良い)

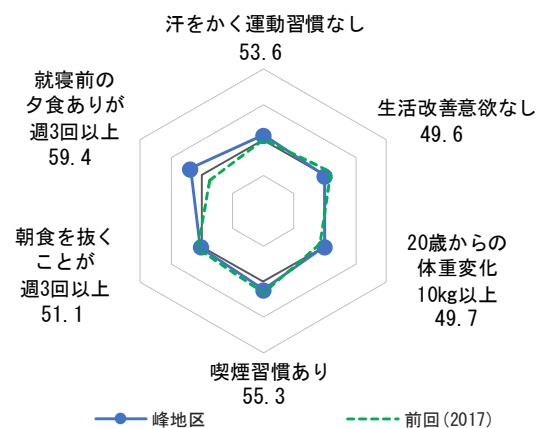
(対象) 国民健康保険被保険者



資料: 令和3年度 KDB データ

④ 行動特性 (小さいほど良い)

(対象) 国民健康保険被保険者

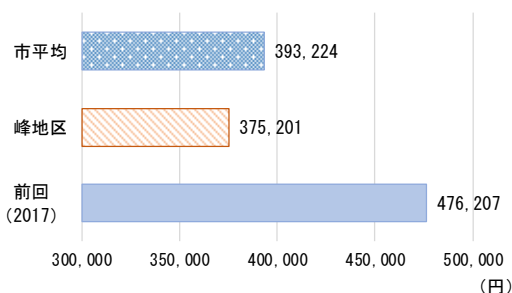


資料: 令和3年度 KDB データ

イ 医療の状況

① 1人当たり年間医療費等

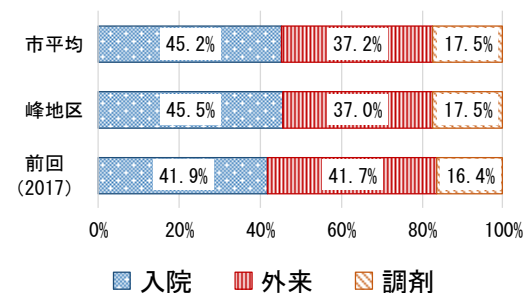
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料: 令和3年度 KDB データ

② 入院・外来・調剤別医療費の割合

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料: 令和3年度 KDB データ

③ 医療費の内訳（構成比）（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

	市全体	地区	前回
糖尿病	4.73%	5.88% (↑)	3.63%
高血圧症	8.33%	6.87% (↓)	4.08%
脂質異常症	0.02%	0.04% (=)	3.39%
高尿酸血症	0.84%	0.92% (=)	0.08%
脂肪肝	0.08%	0.05% (=)	0.28%
動脈硬化症	0.00%	0.00% (=)	0.50%
脳出血	0.15%	0.12% (=)	0.60%
脳梗塞	0.90%	0.80% (=)	2.03%

	市全体	地区	前回
狭心症	1.56%	7.85% (↑)	2.27%
心筋梗塞	0.12%	0.01% (=)	2.17%
がん	4.46%	2.88% (↓)	9.29%
筋・骨格	11.37%	7.80% (↓)	11.18%
精神	2.77%	4.70% (↑)	3.03%
慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	0.22%	0.24% (=)	0.26%
慢性腎不全	1.74%	2.92% (↑)	9.42%

資料：令和3年度 KDB データ

市全体との差が±0.5%以内：(=)，市全体との差が0.5%より高い(↑)，低い(↓)

ウ 介護の状況

① 基本情報

(対象) 65 歳以上

	地区	(市全体)	前回
1号被保険者数	2,620人		2,473人
認定者数	494人		454人
認定率	18.9%	18.0%	18.4%

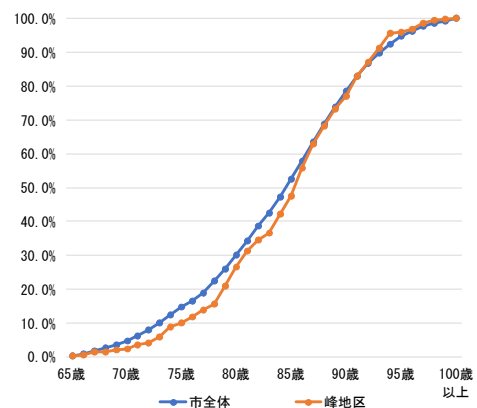
【内訳】		人数	構成比		
要支援	要支援1	95人	39.1% (↑)	32.6%	36.1%
	要支援2	98人			
要介護	要介護1	74人	30.8% (↓)	34.7%	33.5%
	要介護2	78人			
	要介護3	49人			
	要介護4	73人	30.2% (↓)	32.7%	30.4%
	要介護5	27人			

市全体との差が±1.0%以内：(=)，市全体との差が1.0%より高い(↑)，低い(↓)

資料：令和3年度宇都宮市高齢福祉課介護台帳

② 年齢分布（累計）

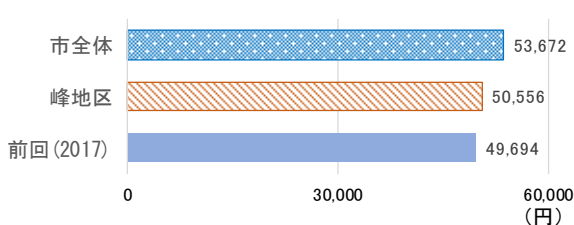
(対象) 65 歳以上



資料：令和3年度宇都宮市高齢福祉課介護台帳

③ 1件あたり介護給付月額

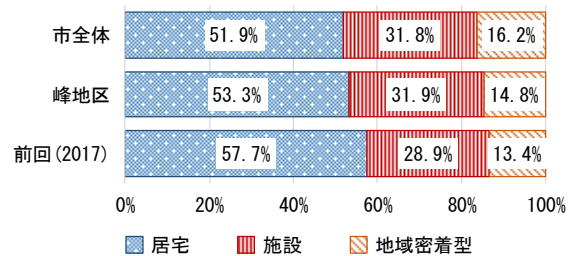
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：令和3年度 KDB データ

④ サービス別介護給付費の割合

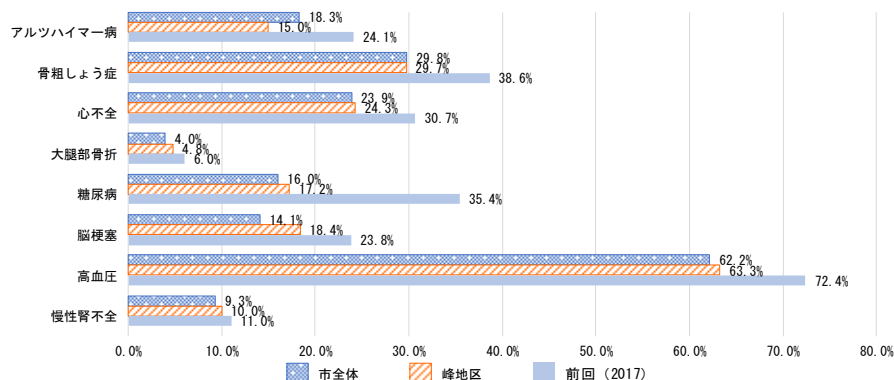
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：令和3年度 KDB データ

⑤ 認定者の有病率

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

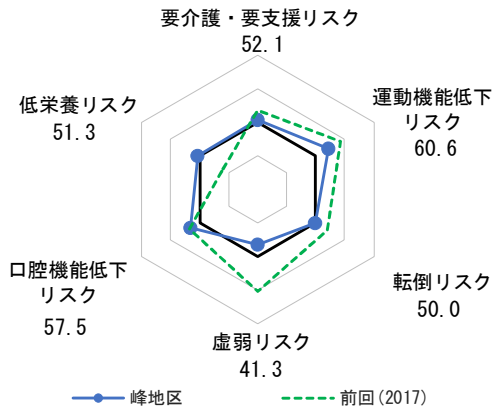


資料：令和3年度 KDB データ

(3) 生活習慣・社会参加

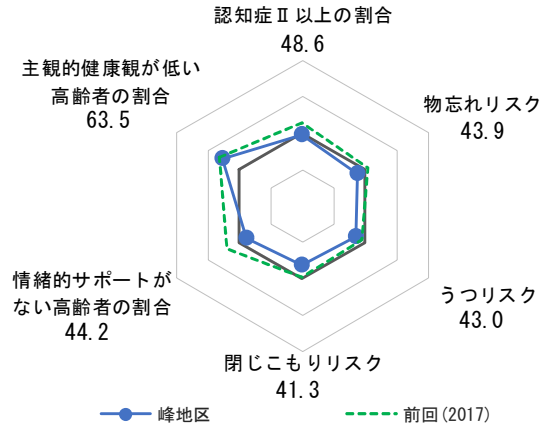
(※市全体の割合を 50 とし、上限を 90、下限を 10 とした場合の値、* 90、* 10 は上限・下限を超える値)

① 要支援・要介護のリスク (小さいほど良い)



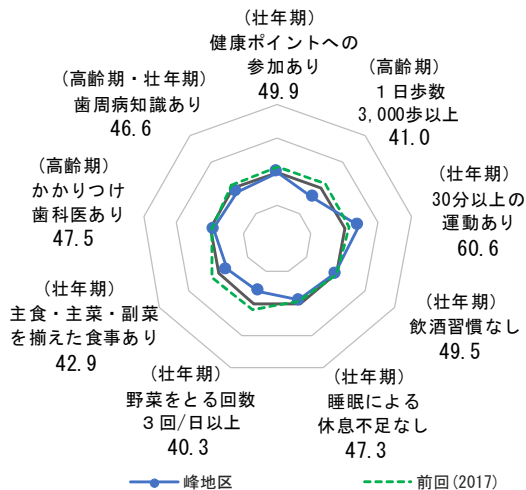
資料：令和 4 年健康意識アンケート調査 (高齢期)

② 認知症リスク (小さいほど良い)



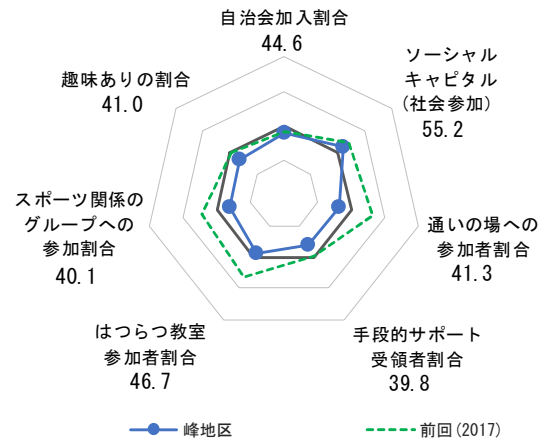
資料：令和 4 年健康意識アンケート調査 (高齢期)・宇都宮市高齢福祉課データ

③ 生活習慣 (大きいほど良い)



資料：令和 4 年健康意識アンケート調査 (高齢期、壮年期)

④ 社会参加・社会的ネットワーク (大きいほど良い)



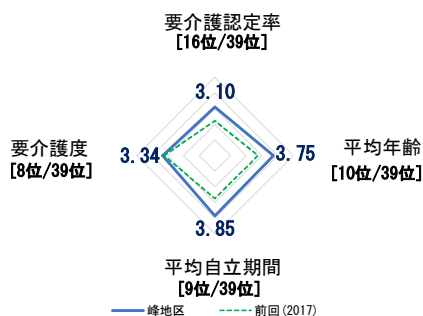
資料：令和 4 年健康意識アンケート調査 (高齢期)

手段的サポート受領者割合*：看病や世話をしてくれる人がいる高齢者の割合

(4) 健康度の状況 (大きいほど良い)

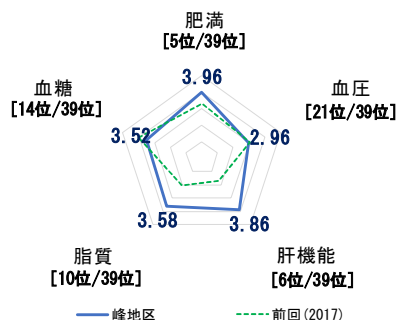
① 介護健康度

14.04 点/20 点
【7 位/39 地区】



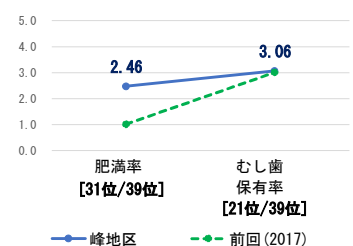
② 生活習慣健康度

17.88 点/25 点
【6 位/39 地区】



③ 子ども健康度

5.52 点/10 点
【31 位/39 地区】



※各関連指標は全市を 3 点とした場合の値、市全体より健康度が高い：



低い：



(5) 地域診断

ア データからみる地域の状況

【地域資源・生活環境】

- ・ 高齢化率は、市全体に比べてやや低い。
- ・ 年齢3階級別構成比は、市全体に比べて「15～64 歳」が高い。
- ・ 産業別就業人口構成比は、市全体に比べて「第3次産業」が高い。
- ・ 交通安全運動や、防犯パトロール活動など、安全・安心に係る取組が多く行われている。

【健診・医療・介護】

- ・ 特定健診等受診率は、市全体に比べて「肺がん」「前立腺がん」「胃がん」「大腸がん」は低い。
- ・ 生活習慣リスク保有率は、市全体に比べて「血圧・脂質」「血糖・血圧」がやや高く、「血糖」は低い。
- ・ 行動特性は、「就寝前の夕食ありが週3回以上」「喫煙習慣あり」がやや高い。
- ・ 1人当たり年間医療費等は、市全体に比べて低く、医療費の内訳は、市全体に比べて「狭心症」が特に高く、「精神」「糖尿病」がやや高い。
- ・ 1件あたり介護給付月額は、市全体に比べて低い。
- ・ 認定者の有病率は、市全体に比べて「脳梗塞」が高い。

【生活習慣・社会参加】

- ・ 要支援・要介護リスクは、市全体に比べて「運動機能低下リスク」が高く、「口腔機能低下リスク」がやや高い。認知症リスク等は、市全体に比べて「主観的健康観が低い高齢者の割合」が高い。
- ・ 生活習慣は、市全体に比べて「30分以上の運動あり」は高く、「1日歩数 3,000 歩以上」「野菜をとる回数 3 回/日以上」「主食・主菜・副菜を揃えた食事あり」はやや低い。
- ・ 社会参加・社会的ネットワークは、市全体に比べて「ソーシャルキャピタル（社会参加）」はやや高く、「手段的サポート受領者割合」は低く、「スポーツ関係のグループへの参加割合」「趣味ありの割合」「通いの場への参加者割合」はやや低い。

【健康度】

- ・ 介護健康度は、「平均自立期間」「平均年齢」は市全体に比べて高く、それ以外の項目は同等である。
- ・ 生活習慣健康度は、「肥満」「肝機能」「脂質」「血糖」は市全体に比べて高い。
- ・ 子ども健康度は、「肥満」は市全体に比べて低く、「むし歯保有率」は同等である。

イ 地域の課題

- ・ 峰地区においては、市全体に比べてがん検診の受診率が低く、生活習慣リスク保有率は「血圧・脂質」「血糖・血圧」が高く、「喫煙習慣あり」も高い状況である。また、医療費の内訳では、「狭心症」が高いことから、疾病の早期発見・早期治療のため、がん検診の受診率の向上に取り組むとともに、心疾患などの生活習慣病を予防するため、たばこの害についての正しい知識の普及啓発や禁煙を働きかけるなど喫煙率を減少させる取組が必要である。
- ・ 要支援・要介護リスクは、市全体に比べて「運動機能低下リスク」が高く、生活習慣は「1日歩数 3,000 歩以上」「主食・主菜・副菜を揃えた食事あり」「野菜をとる回数 3 回/日以上」が低いことから運動の習慣化や正しい食習慣の定着化を図る取組を強化する必要がある。
- ・ 生活習慣・社会参加では、「手段的サポート受領者割合」「スポーツ関係のグループへの参加割合」「趣味ありの割合」「通いの場への参加者割合」が低いことから、虚弱リスクを減らすための地域の民生委員や福祉協力員等の地域活動やサポート体制を維持するとともに、こうした社会参加や社会的ネットワークを通じて、介護予防を図る必要がある。